

はな

みず

き

花水木

平成30年度は、「ちとせオープンガーデン」や「森の中の冒険あそび場」などの新規事業に、多くの市民の皆様に参加いただきました。

新年度も引き続き、「花と緑のある美しい街づくり」に努めてまいります。

ちとせオープンガーデンが始まりました！

平成30年度は、個人庭主17名のボランティアにより「ちとせオープンガーデン」が開催され、合計1,436名の市民の皆様に見学していただきました。

新年度は、新しい庭主の方々に参加をいただき、さらなる充実に努めてまいります。



緑町 池田邸

「終活を意識し紅葉を楽しむお庭」
壁面にアメリカンカンシダを這わせ、ミニウツギなどのグランドカバーや宿根草がハーモニーを奏でます。



末広 赤石邸

「バラと宿根草が競演する庭園」

約120品種のバラは、ロゼット咲きのランブラーとオールドローズを中心に、毎年7月には満開の花で覆われます。



春日町 松村邸

「バラとクレマチスの癒しの空間」
香りの良い四季咲きのバラ、クレマチスや宿根草が咲く秘密の花園です。近くの森から野鳥も遊びに来ます。

<目次>

GARDEN STORY	・・・ p2
オープンガーデンの楽しみ方	・・・ p3
森の中の冒険あそび場	・・・ p4
巨木をめぐるウォークラリー	・・・ p5
青葉公園自然観察会	・・・ p5
花いっぱいコンクール	・・・ p6
花と緑の写真コンテスト	・・・ p6
花と緑の絵コンクール	・・・ p7
花と緑のフェスタ	・・・ p7
都市緑化振興事業の紹介	・・・ p8



GARDEN STORY

ナチュラルガーデンを楽しむ

約40年前、私たち夫婦は近郊の街に暮らしており、庭づくりを始めました。

その後、平成19年に千歳市に転居することになり、お花やヤマボウシなどの樹木と一緒に移り住みました。

義母からは「庭を自由にデザインしていいわよ」といわれ、英国風のお庭にしたことを思い出します。



オーナー
白樺
島山 悦子さん



島山邸のお庭

現在は、宿根草を中心とした「ナチュラルガーデン」として、200種類以上の草花が春から秋まで切れ目なく咲いています。また、主人には、赤色をワンポイントにした手作り雑貨を造ってもらっています。

シンボルツリーのヤマボウシは、毎年、義母の笑顔のように咲き、たくさんの幸せを運んでくれます。

昨年は、若いご夫婦や新築された方などから、お庭のデザインや植物についての相談などがあり、オープンガーデンの交流を楽しんでいます。



中村邸のお庭

夫婦で作る和洋折衷のお庭

昭和45年に家を新築し、オシロイバナなどの樹木、庭石や燈籠などを集めることから始めました。

築山を築くため、何トンもある大きな庭石を配置するにも、何日も時間や労力を費やし、大変な作業でしたが、やりがいと達成感を満喫しました。

現在も夫婦で協力して、庭づくりを楽しんでいます。



オーナー
住吉
中村 守・涼子さん



家内は、ネモフィラやサフィニアなどで洋風コンテナを造っており、お花の色彩が心を和ませてくれます。

また、奥庭にある樹齢百年を超えるフジ、竹で組んだ塀、数百個の庭石から見え隠れする高山植物など、和風庭園を楽しんでいます。

庭づくりから約50年、昔ほど無理はできませんが、オープンガーデンがきっかけとなったご近所さんとお花の交換や、植物の写真などをお持ちになった市民の皆さんとの出会いに、感謝しています。

ちとせオープンガーデン 2019の楽しみ方



千歳市内には、オープンガーデンのお庭がいっぱいです。
毎年、6月から9月まで無料で公開して頂いています。



東郊・向陽台方面

風に揺れる宿根草のお庭、山野草や宿根草などでデザインしたお庭、バラがきれいなお庭、コンテナやハンギングなどを楽しめるお庭があります。



浅川邸



西嶋邸



長尾邸



千葉邸



緑町・北光・自由ヶ丘方面

株立ちの木々に囲まれたお庭、ステキな雑貨類があるお庭、バラがきれいなお庭、宿根草などがきれいなお庭があります。



石田邸



池田邸



佐々木邸



竹本邸



豊里・泉郷・新川方面

つるバラが咲くステキなお庭、ハンギングや広い芝生のお庭、アジサイが咲き誇るお庭、一年草でデザインしたお庭があります。



西野邸



岡本邸

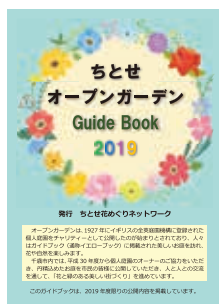


玉井邸



北川邸

ちとせオープンガーデン Guide Book 2019



毎年6月1日から、公開日や地図などを掲載したガイドブックを無料で配布しています。

(千歳市役所都市整備課・財団事務所・図書館・各コミュニティセンターなどに配置)

※公開日は庭園により異なります。

ガーデンツアー2019のお知らせ



参加無料です！

2019年6月から7月にかけて、オープンガーデンをバスで巡るガーデンツアーを開催します。(4日間、計8回)

※お友達を誘って、ステキなお庭を訪ねましょう！



森の中の冒険あそび場を開催！

青葉公園の森の中で
「遊び」を学びませんか？

財団では、平成30年度から青葉公園の森の中で、子どもたちが虫や自然の草木とふれあうことで、自由な発想で遊びを展開する「森の中の冒険あそび場」を開催しています。

新年度も、青葉公園のピクニック広場で6月に「森のようちえん体験会」、8月に「プレーパーク体験会」を開催します。今年もたくさん子どもたちの笑顔に出会えることを楽しみにしています。



平成30年度は、森の中の冒険あそび場に132名の親子が参加しました。



プレーパークって何だろう？

のびのび遊べる自然環境があることで、子どもたちの心と体が育ち、大人も安心して子どもを見守ることができます。遊び場づくりを通して地域の人たちが仲良くなれるのもプレーパークの魅力ですね。近くは公園などで、お友達と一緒にプレーパークを楽しんでみませんか！

プレーパークは、誰でも遊べる野外の遊び場です。大人の決めたプログラムではなく、そこにあるものを使って子どもが自由に遊びをつくれる場所です。ちょっとした素材があれば、子どもたちの想像力でダンボールがお家になったり、ロープがブランコになったりと、遊びは無限大に広がります。



岡村 恵子 さん
公益財団法人札幌市公園緑化協会
あそび場ネット北海道代表

コラム

日本の森林率は世界第3位！

日本の森林率は、先進諸国の中でフィンランド 73.1%、スウェーデン 68.9%に次いで、世界第3位の 68.5%と有数の森林大国です。

(OECD加盟国の比較、2015年世界銀行調査)

森のようちえん体験会インタビュー



清流在住
谷地 敦美さん

子どもの遊びは、時代を問わないことを改めて感じました。体験会では、子どもが木の実や虫などを見つけると宝物を見つけたみたいに目を輝かせて、「お母さん、これ見つけた！」と教えてくれました。私の嬉しい発見でもあり、子どもにとっても楽しい思い出になったのかなと思います。体験会後は、普段の公園遊びでも、遊具だけではなく切り株に登ってみたり、芝生でゴロゴロしたりと、自然を体全体で感じながら遊ぶことが多くなったと思います。

巨木をめぐるウォークラリー (6月～8月実施予定)

巨木をめぐるウォークラリーは、青葉公園の園路沿いにあるハルニレ、ミズナラ、コナラ、カツラの推定樹齡が300年を超える巨木15本をめぐります。

巨木には、樹種や樹齡が分かる「樹木プレート」を設置しており、「ひらがな一字」が書いてありますので、財団事務所で回答用紙をもらい、キーワードを記入すると参加賞をプレゼントします。



青葉幼稚園のみなさん



千歳幼稚園のみなさん



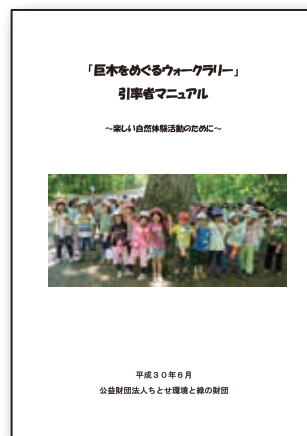
青葉公園コース図を参考にすることで、自由にコースを設定し、巨木をめぐることができます。

平成30年度は、参加対象を3歳以上に拡大し、開催期間も1カ月間延長したところ、781名の参加がありました。

新年度も、幼稚園や学童クラブ、ボーイスカウト、スポーツ少年団などの児童グループや親子連れのみならず、参加をお待ちしています。



巨木をめぐるウォークラリー 引率者マニュアル



財団では、巨木をめぐるウォークラリーを安心安全に実施していただくため、森の中で自然体験活動を行う引率者マニュアルを作成し、児童グループ等に事前配布しています。

引率者マニュアルをご希望の方は、財団までご連絡ください。(TEL 22-1117まで)

青葉公園自然観察会 (6月 開催予定)

青葉公園には、約360種類以上の草花や樹木が生息しているといわれていますが、青葉公園自然観察会では、専門家の講師を招いて、青葉公園の草花の名称や植生などについて学びます。

また、青葉公園の貴重な自然の大切さについて、自然観察会を通して知識を深めます。



花いっぱいコンクール

花と緑があふれるまちづくりを推進するため、町内会・学校・福祉施設・事業所などに花苗等を無料で配布し、審査により優秀な花壇を表彰しています。(花壇部門、フラワーロード部門、ガーデン部門)

平成 30 年度は 207 団体が参加し、各部門の最優秀賞の受賞団体等は次のとおりです。



花壇部門 町内会の部
幌加連合会女性部

【講評】

手入れの行き届いた大型花壇に植栽された花の存在感が圧倒的です。様々な種類の花を用いて華やかにデザインされています。



花壇部門 幼稚園等の部
住吉認定こども園

【講評】

真っ赤なペコニアを花壇の中心に配置した円形のデザインが印象的です。1株1株の花が元気にいきいきと育っています。



花壇部門 小学校の部
北陽小学校

【講評】

玄関前に設置された大型花壇いっぱいに花が大きく育っています。たくさん色を使うことで、カラフルで明るい花壇を演出しています。



花壇部門 中学校等の部
東千歳中学校

【講評】

校門を入ると、色鮮やかな花壇が目に見え、飛び込んできます。階段状のデザインとすることで、ボリューム感や奥行きを演出しています。



花壇部門 福祉施設の部
新富デイサービスセンター

【講評】

「そだね」をテーマにカーリングストーンをデザインしています。広いスペースに1年草や季節ごとに咲く花を植栽する発想が豊かです。



フラワーロード部門
あずさ町内会

【講評】

フラワーロード全体がきれいに除草され管理が行き届いています。赤と白の色彩が緑地と調和して美しく、花株が大きく育っています。



ガーデン部門
千歳病院

【講評】

玄関前のスペースを有効に活用し、観賞しやすいように工夫されています。1年草と宿根草をバランスよく配置しデザイン性が高くなっています。



ガーデン部門
勇舞川を守る会

【講評】

駐車場から見渡すことができる2つの大きな花壇で構成されています。紫色の花が効果的にデザインされて、景観を鮮やかに演出しています。

花と緑の写真コンテスト

緑化意識の高揚を図るため、花のある風景、花と触れ合う人、花と子どもの笑顔などを題材とした写真を募集し、優秀な作品を表彰しています。(一般部門、スナップ部門)

平成 30 年度は 88 作品の応募があり、各部門のグランプリ、金賞の作品は次のとおりです。



一般部門 グランプリ

「忘れられた花たち」
吉田 憲作さん

【講評】

紫やピンク、白い花と三角屋根の建物の構成が素晴らしい。青空や白い雲がさわやかな印象を与え、初夏のひとときを感じさせるやさしいイメージの作品です。



スナップ部門 グランプリ

「シロツメグサ大好き！」
矢田郷 昌稔さん

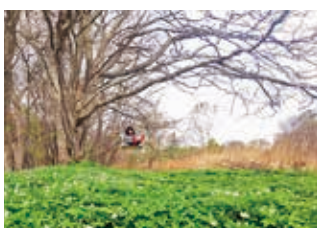
【講評】

シロツメグサを夢中で摘み取る子どもの一瞬をとらえている。花を摘み取る時の自然な子どもの表情がほのぼのとした作品です。



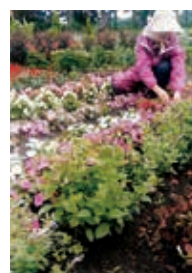
一般部門 金賞

「楽しいね」
久保田 雅代さん



一般部門 金賞

「スプリングエフェメラル」
窪田 美帆さん



スナップ部門 金賞

「花も手入れしだい」
玉井 浩美さん



スナップ部門 金賞

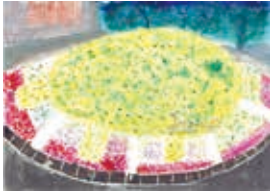
「紅葉のじゅうたん」
窪田 美帆さん

花と緑の絵コンクール

次代を担う子どもたちに花と緑に興味を持ち理解を深めてもらうため、市内の小学4年生から6年生までを対象に、花と緑と水を題材とした写生画を募集し、優秀な作品を表彰しています。

平成30年度は11校から408作品の応募があり、金賞、銀賞、銅賞の受賞者は次のとおりです。

<金賞>



「花壇」
向陽台小 高橋 美桜さん

【講評】

学校の花壇を大胆に画面いっぱいに大きく描き、迫力が伝わってきます。花の色合いや丁寧さなどポイントをつかみ描かれており、花と緑の素晴らしさや繊細な気持ちが心の豊かさに繋がります。

<銀賞>



「校舎の絵」
末広小 田上 花さん

【講評】

前面の花と背景の校舎のバランスがとれており、色の淡さや雰囲気が学校を引き立てるように描かれています。校舎は水平にとりながら屋根を斜めに変化をつけ、お花との調和がとれています。



「田植えの風景」
東小 竹嶋 沙織さん

【講評】

故郷の山の方に向かって田植えをしている人と手前の人から、人と緑の営みを感じます。細かく丁寧にえがかれており、空の色、土の色、命を繋ぐ東丘の風景が伝わってきます。

<銅賞>



「ミニトマト」
北進小 川村 俊太さん



「花壇」
北進小 牟田 裕基さん



「学級園のキュウリ」
北進小 藤澤 奈々さん



「支笏湖」
北栄小 久保 こはるさん



「校舎の絵」
末広小 佐々木 和奏さん



「千歳川」
緑小 後藤 海音さん



「境」
支笏湖小 佐々木 陸さん



「不思議な花」
日の出小 前田 大和さん



「花壇の花」
日の出小 鈴木 春陽さん



「信濃小学校50周年」
信濃小 滝澤 彩華さん



「ママチ川探検」
高台小 生田 莉子さん



「学校と自然」
向陽台小 菅 百華さん



「千歳川」
泉沢小 渡辺 茜さん



「ひまわり」
日の出小 山西 優来さん



「ひまわり」
日の出小 室井 ひなたさん

※学校名は受賞当時、銀賞・銅賞は順不同。

花と緑のフェスタのご案内 5月16日～19日開催

2019年は、5月16日（木）から19日（日）までの4日間、花苗や野菜苗を1株50円から販売します。また、花苗等の購入割引券配布、花苗無料プレゼント、食マルシェ・野菜マルシェなどを予定しています。



平成30年度来場者数：10,212人



メモリアルツリー贈呈式

【イベント内容】

- ・寄せ植えの無料抽選会
- ・お花やリースのオークション
- ・寄せ植えのデモンストレーション
- ・大好きな人に花束プレゼント
- ・メモリアルツリー贈呈式
- ・ジャズ音楽演奏
- ・キッズダンス など



平成 31 年度 都市緑化振興事業の紹介

No.	事業名	事業内容	開催時期・会場等
1	花と緑のフェスタ	寄せ植えポット無料抽選会、花苗等の購入割引券、花苗プレゼント、花苗等安価販売、食マルシェなど	5月16～19日 開催 グリーンベルト
2	花いっぱいコンクール	町内会・学校・福祉施設・事業所などに花苗を無料で配布し、花壇やフラワーロード等を審査・表彰	4月に募集 8月下旬表彰
3	花と緑の絵コンクール	小学4年生～6年生の皆さんに、花・緑・水をテーマとした写生画を募集し、優秀作品を表彰	6月～9月に募集 10月下旬表彰
4	花と緑の写真コンテスト	庭の草花、緑に親しむ様子、花と子供の笑顔などの写真を募集し、優秀作品を表彰（一般部門、スナップ部門）	6月～9月に募集 10月下旬表彰
5	緑の相談	庭木や鉢植えの管理などについてのお困り事相談	4月～10月 実施
6	園芸教室	プリザーブドフラワーや寄せ植え作りなどの教室	11月・12月・2月 開催
7	花と野菜の学校	親子で楽しむ花や野菜の育てるコツ、ハロウィンで飾る手作りかぼちゃなど（親子参加型教室）	6月・10月 開催
8	ガーデニング講習会	バラや宿根草の育て方、庭づくりなどの講習	6月・9月 開催
9	花と緑の講演会	ガーデニングなどに関する講演	3月上旬 開催
10	緑化リーダー研修会	ガーデニングの知識や技術を学ぶ研修、市外バス研修	7月・3月 実施
11	ちとせ花めぐり見学会 （ガーデンバスツアー）	個人宅のオープンガーデン、花いっぱいコンクールに参加したフラワーロードなどをバスに乗って見学	6月・7月 開催
12	ちとせオープンガーデン	ガイドブックを片手に個人庭園を訪ね歩き、庭づくりのヒントを得たり、お花などの話で庭主と交流	6月～9月 実施
13	青葉公園自然観察会	青葉公園の草花などについて知識を深める	6月開催 青葉公園
14	巨木をめぐる ウォークラリー	親子や児童グループが青葉公園内の巨木を見つけ、樹木プレートにあるキーワードを記入する（参加賞贈呈）	6月～8月 実施 青葉公園
15	森の中の冒険あそび場	森のようちえん体験会、プレーパーク体験会など、冒険しながら自然とふれあう親子参加型の体験会	6月・8月 開催 青葉公園
16	メモリアルツリー プレゼント	人生の節目となる慶事（出生・入学・結婚・自宅購入・還暦）を迎えた方に、苗木や鉢植えを無料プレゼント	4月に募集
17	植樹会	町内会、学校などに、植樹用の苗木を無料配付	5月～10月に募集
18	樹木名板取付会	学校などを対象に、樹木の名前を記入する板を無料配付	5月～10月に募集
19	フラワーポット貸出事業	事業者や商店街を対象に、フラワーポットを無料貸出	5月～6月に募集
20	樹木等の再利用の情報提供	庭木や鉢植えを手放す方からの情報を提供	4月～3月に募集
21	広報誌「花水木」発行	都市緑化振興事業の情報を掲載した広報誌を発行	3月 発行
22	ポスター・カレンダー発行	コンクールやコンテストのポスターやカレンダーを発行	8月～12月 発行
23	コンクール受賞作品展示会	花いっぱいコンクール、花と緑の絵コンクール、花と緑の写真コンテストの受賞作品を公共施設に展示	11月 開催 北ガス文化ホール予定

「水と緑のふれあい基金」のお知らせ

水と緑のふれあい基金は、皆さんからのご寄付を積み立て、運用益を活用して、「植樹会」「フラワーポット貸出事業」「緑化リーダー研修会」「カレンダー発行」を実施しております。多くの皆さんからのご寄付をお待ちしております。

＜平成 30 年度にご寄付いただいた皆さん＞

- ・自治労千歳市職員労働組合 様
- ・千歳市環境整備事業協同組合 様
- その他匿名でご寄付いただきました。

財団ホームページについて

平成 30 年 6 月、財団ホームページを全面リニューアルしました！

- オープンガーデン、ガーデンストーリーなどのページを新設
- イベント案内では、募集中の講座やイベント内容を掲載
- インスタグラム、フェイスブック、ユーチューブに連動

